

学 会 発 表

抹茶の価格と機能性の関係について—糖質吸収抑制作用を指標として—

中村衣里, 上田友佳子, 橋本ゆかり, 和田宏美, 松浦寿喜

第29回茶学術研究会講演会, 静岡, 2014.3.

水溶性食物繊維持続投与ラットにおける解熱鎮痛剤の吸収抑制作用

橋本ゆかり, 上田友佳子, 和田宏美, 中村衣里, 松浦寿喜

日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

イヌリン, ガラクトマンナンは小腸上皮細胞においてカイロミクロンの分泌を抑制する

森雄一郎, 山元宏貴, 北野美佐子, 伊神孝生, 中村衣里, 上田友佳子, 橋本ゆかり, 和田宏美, 松浦寿喜

第68回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2014.5.

膵リパーゼ阻害作用によるオーツブランの中性脂肪吸収抑制作用

北野美佐子, 山元宏貴, 森雄一郎, 藤井 孝, 石橋泰史, 伊神孝生, 中村衣里, 上田友佳子, 橋本ゆかり, 和田宏美, 松浦寿喜

第68回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2014.5.

銘柄の異なる抹茶が糖質吸収抑制作用に与える影響

中村衣里, 上田友佳子, 橋本ゆかり, 和田宏美, 松浦寿喜

第68回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2014.5.

ブドウ種子抽出物の糖質および脂質吸収抑制作用

高井 舞, 橋本ゆかり, 和田宏美, 中村衣里, 松浦寿喜

第53回日本栄養・食糧学会近畿支部大会, 京都, 2014.10.

ラットにおける水溶性食物繊維の医薬品吸収抑制作用

橋本ゆかり, 和田宏美, 高井 舞, 中村衣里, 松浦寿喜

第53回日本栄養・食糧学会近畿支部大会, 京都, 2014.10.

スイートバジルの糖質吸収抑制作用に関する研究

和田宏美, 橋本ゆかり, 高井 舞, 中村衣里, 松浦寿喜

第53回日本栄養・食糧学会近畿支部大会, 京都, 2014.10.

Influence of perivascular adipose tissue on vasodilation in metabolic syndrome.

Kagota S, Maruyama K, Iwata S, Wakuda H, Yoshikawa N, Nakamura K, Shinozuka K.

Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology (Canada), 2014.5.1-3.

The mechanisms of preservation of vasorelaxation induced by protease-activated receptor-2 activation in aorta of metabolic syndrome model rats.

Maruyama K, Kagota S, Wakuda H, McGuire JJ, Yoshikawa N, Nakamura K, Kunitomo M, Shinozuka K.

Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology (Canada), 2014.5.1-3.

Differences in vasodilation via protease-activated receptor-2 in various arteries from SHRSP.Z-Leprfa/IzmDmcr rats with metabolic syndrome.

Maruyama K, Kagota S, Wakuda H, McGuire JJ, Yoshikawa N, Nakamura K, Shinozuka K.

9th Metabolic Syndrome, Type 2 Diabetes and Atherosclerosis Congress (Kyoto), 2014.9.12-14.

メタボリックシンドロームモデル SHRSP. Z-Lepr^{fl}/IzmDmcr ラット大動脈に生じるプロテアーゼ活性化型受容体-2を介する拡張機能の保持機構

丸山加菜, 籠田智美, 和久田浩一, McGuire John J., 吉川紀子, 中村一基, 国友 勝, 篠塚和正, 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

The mechanisms of preservation of vasorelaxation induced by protease-activated receptor-2 activation in aorta of metabolic syndrome model rats

Kana Maruyama, Satomi Kagota, Hirokazu Wakuda, John J. McGuire, Noriko Yoshikawa, Kazuki Nakamura, Masaru Kunitomo, Kazumasa Shinozuka, Atherosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology 2014, Tronto, Canada, 2014.5.

Influence of perivascular adipose tissue on vasodilation in metabolic syndrome

Satomi Kagota, Kana Maruyama, Saki Iwata, Hirokazu Wakuda, Noriko Yoshikawa, Kazuki Nakamura, Kazumasa Shinozuka, Atherosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology 2014, Tronto, Canada, 2014.5.

タバコ煙水抽出物との反応により産生される細胞内GSH修飾物質のLC/MS分析

堀山志朱代, 本田千恵, 諏訪紀代子, 市川 厚, 高橋雄太, 畑井麻友子, 吉川紀子, 中村一基, 国友 勝, 高山光男, 第62回質量分析総合討論会, 吹田, 2014.5.

ヒト大腸がん細胞におけるがん抑制遺伝子 Programmed cell death 4の発現量と浸潤能に対する炎症性刺激の影響

佐々木さやか, 吉川紀子, 畑井麻友子, 籠田智美, 篠塚和正, 中村一基, 第125回日本薬理学会近畿部会, 岡山, 2014.6.

Differences in vasodilation via protease-activated

receptor-2 in various arteries from SHRSP.Z-Lepr^{fl}/IzmDmcr rats with metabolic syndrome

Kana Maruyama, Satomi Kagota, Hirokazu Wakuda, John J. McGuire, Noriko Yoshikawa, Kazuki Nakamura, Kazumasa Shinozuka, 9th Metabolic Syndrome, Type 2 Diabetes and Atherosclerosis Congress, Kyoto, 2014.9.

Effect of inflammatory stimulation on programmed cell death 4 expression and invasive activity in human colorectal carcinoma cells

Kazuki Nakamura, Sayaka Sasaki, Mayuko Hatai, Satomi Kagota, Kazumasa Shinozuka, Noriko Yoshikawa, 9th International Conference of Anticancer Research, Porto Carras, Sithonia, Greece, 2014.10.

マウスメラノーマ細胞におけるがん抑制遺伝子 Programmed Cell Death 4の発現量と転移能の関係

今安麻緒, 楠田素子, 山口京子, 吉川紀子, 佐々木さやか, 畑井麻友子, 籠田智美, 篠塚和正, 中村一基, 第64回日本薬学会近畿支部総会・大会, 京都薬科大学, 2014.10.

Ten year campaign for eating soy and sea-food rich traditional Japanese diets with less salt reduced cardiovascular risks in Hyogo prefecture, one twentieth of Japanese population

Yamori, Y., Sagara, M., Mori, M., Arai, Y., Kobayashi, H, Hayashi, I., Onishi, S., Nagata, S., Joint Meeting of the European Society of Hypertension (ESH) and International Society of Hypertension (ISH), アテネ, 2014.6.

兵庫県民560万人を対象に日本の伝統食, 大豆や魚介類を減塩で摂取するキャンペーンを10年間実施し, 1,000人を目標に24時間尿でモニターし, 一日食塩摂取量は1.9gの有意の減少が最初の3年間でみられ, 10年間の結果は男性よりも女性で顕著で, 収縮期・拡張期血圧, 中性脂肪, 血糖値は有意の減少を, HDLコレステロール

は有意の上昇を示した。

Magnesium in 24-hour urine is inversely related with cardiovascular risks in middle aged subjects in 50 populations in the world

Yamori, Y., Sagara, M., Mizushima, S., Liu, L., Ikeda, K., Nara, Y., Joint Meeting of the European Society of Hypertension (ESH) and International Society of Hypertension (ISH), アテネ, 2014.6.
血液や食事のマグネシウムが循環器疾患のリスクと逆相関するという知見は報告されているが、本学会報告では世界の50集団で24時間尿を採取して分析し、マグネシウム/クレアチニン比が高いと肥満、高血圧、高脂血症のリスクが有意に低いことからマグネシウム摂取が、食物繊維摂取と関係し、抗炎症作用などからこれらのリスクを抑える可能性を論じた。

Roles of DNA repairing factor Rad18 in germinal stem cell.

N. Iyoda, N. Ueda, K. C. Sugiyama, S. Tateishi, K. Yomogida 第47回日本発生生物学会, 名古屋, 2014.5.

母乳栄養のマウス評価モデル系の検討

越智沙織, 穂久 舞, 伊豫田奈津子, 河内愛子, 上田奈美, 蓬田健太郎 第68回日本栄養・食糧学会, 札幌, 2014.5.

Analysis of the function of DNA repairing factor, Rad 18 in germinal stem cell of mice.

N. Iyoda, N. Ueda, K. M. Yao, H. Maeda, S. Tateishi, K. Yomogida 第37回日本分子生物学会, 横浜, 2014.11.

Deletion of a novel apoptosis relating factor Apop-1 affect the regulation of blood glucose.

N. Ueda, N. Iyoda, M. Yao, H. Maeda, A. Kawachi, K. Fukuo, K. Yomogida 第37回日本分子生物学会, 横浜, 2014.11.

マウスの搾乳法の確立とその応用

越智沙織, 竹田真悠, 北川舞依, 穂久 舞, 蓬田健太郎 第37回日本分子生物学会, 横浜, 2014.11.

中林利克, 鮫島由香, 河端真実, 篠塚和正, 水野英哉 「セントジョーンズワート成分ヒペリシンとヒペルフォリンが脂肪細胞分化に与える影響について」日本薬学会第134年会 (熊本) 2014年3月27-30日

トウガンのINF γ 遺伝子の発現増強作用

片岡裕美, 宮尻美愉, 川崎夏未, 奥沢知里, 西川淳一, 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

PM2.5の免疫細胞に対する影響

田鶴谷 (村山) 恵子, 木下和弘, 片岡裕美, 西野 和, 西川淳一, 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

血管内皮細胞の管腔形成におけるCRIM1の機能

中島由希子, 新屋智寛, 秋山友希, 戸田憲一, 佐藤圭創, 高橋 悟 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

血管新生抑制因子アンジオスタチンとフィブロネクチンの相互作用

阪中麻利子, 小倉有起, 中村まち, 杉山晶規, 高橋 悟 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

L-carbocisteineによる血管新生抑制効果の検討

新屋智寛, 横田 翼, 中山志織, 武藤純平, 高橋 悟, 佐藤圭創 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

細胞膜タンパク質CRIM1の細胞内ドメイン結合因子の探索と機能解析

菊池彩菜, 杉山晶規, 田沼孝仁, 秋浜沙織, 寺澤 徹, 千葉まなみ, 島礼 奈, 北田正美, 石

田 舞, 工藤有未, 川崎 靖, 米澤 正, 宮城洋平, 高橋 悟, 名取泰博 日本生化学会東北支部第80回例会, 秋田, 2014.5.

血管内皮細胞の管腔形成におけるCRIM1の機能

中島由希子, 新屋智寛, 佐藤圭創, 高橋 悟 第64回日本薬学会近畿支部大会, 京都, 2014.10.

血管内皮細胞の管腔形成における膜タンパク質CRIM1の細胞内領域の役割

森本麻由佳, 瀧本佳奈, 高橋 悟 第37回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014.11.

血管内皮細胞における膜タンパク質CRIM1 mRNA発現の誘導

中島由希子, 高橋 悟 第37回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014.11.

内因性血管新生抑制因子Angiostatinによる作用発現メカニズムの解析

中原由貴, 榎園洋幸, 新屋智寛, 溝辺竜大, 佐藤圭創, 高橋 悟 第37回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014.11.

摂食回数の違いが青年期ラットの代謝に与える影響

戸根瑛美, 小垂 眞, 田代 操, 第68回日本栄養・食糧学会大会, 江別, 2014.5

食品からのインクレチン増強因子の検索

戸根瑛美, 小垂 眞, 田代 操, 日本食品科学工学会第61回大会, 福岡, 2014.9

クローブのDPP-IV阻害活性

戸根瑛美, 小垂 眞, 田中夕貴, 向出榛日, 田代 操, 日本栄養・食糧学会第53回近畿支部大会, 京都, 2014.10

ジオスゲニンによる脂質代謝亢進作用の検討

升井洋至, 辻原命子, 草野由理, 竹内若子 日本食品科学工学会第61回大会, 九州, 2014.8.28~30

Niemann-Pick病C型に対する各種Cyclodextrin誘導体の有効性・安全性In Vitro評価

徳丸博子, 近藤悠希, 田口真紀子, 中島由佳, 松本朋子, 石塚洋一, 岡田安代, 西川淳一, 市川 厚, 東 大志, 本山敬一, 有馬英俊, 松尾宗明, 大野耕策, 檜垣克美, 入江徹美 第31回日本薬学会九州支部大会, 福岡, 2014.12

Niemann-Pick 病Type Cの病態モデル, *Npc1*欠損細胞における6-O- α -maltosyl- β -cyclodextrinの動態

岡田安代, 鶴賀千夏, 谷田部紗矢香, 市川 厚, 徳丸博子, 近藤悠希, 石塚洋一, 入江徹美, 東大志, 本山敬一, 有馬英俊, 松尾宗明, 檜垣克美, 大野耕策, 西川淳一 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.

6-O- α -maltosyl- β -cyclodextrinによるNiemann-Pick病Type Cの病態モデル, *Npc1*欠損細胞のコレステロールへの影響

谷田部紗矢香, 岡田安代, 鶴賀千夏, 市川 厚, 徳丸博子, 近藤悠希, 石塚洋一, 入江徹美, 東大志, 本山敬一, 有馬英俊, 松尾宗明, 檜垣克美, 大野耕策, 西川淳一 日本薬学会第134年会, 熊本, 2014.3.